

教科	数学	科目	数学A	2単位	年次	1年次
使用教科書	啓林館 詳説 数学A 改訂版 (61 啓林館 数A 324)					
副教材	改訂版 教科書傍用 サクシード 数学 I + A (数研出版)					

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

英語で授業を行います。そのため、教科書をよく読み日本語と英語を対応させながら授業に臨んでください。数学では、抽象的な概念の一般化を目指します。また、コミュニケーションをとるための「数学という固有の言語」を学習します。問題が解けるかどうかを単に目指すだけでなく、なぜこうなるのかを説明したり、なぜこのような公式なのかを理解することを目指します。英語での学習になるので、予習復習をしっかりと行ってください。

2. 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える・知る能力を身につけることを目指す。
図形の性質、場合の数と確率について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 数学的な技能	d: 知識・理解
観点の主旨	数学のよさを認識し数学を活用しようとする。また、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返り、考察を深め、評価・改善しようとする。	身の回りの事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	身の回りの事象や、数学特有の事象について、数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数学における基本的な概念をさまざまな方法で表現する方法を理解し、説明しようとしている。また、数学的な概念を他者に説明する際、数学的な概念を用いて効果的に説明することができる。
評価方法	・授業態度 ・課題提出	・課題提出 ・小テスト ・定期試験	・課題提出 ・小テスト ・定期試験	・課題提出 ・小テスト ・定期試験

上に示す観点に基づいて、学習のまともなことに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
			a	b	c	d			
4	整数の性質	整数	○	○	○	○	a:整数の性質に関心をもち、そのよさに気付こうとする。 b:身の回りの事象や、数学的な事象を考える際、整数の性質や1次不定方程式を利用することができる。 c:整数、ユークリッドの互除法、1次不定方程式などの計算を行うことができる。 d:1次不定方程式の解き方を理解し、その仕組みについて考察することができる。	授業態度 課題提出 小テスト 定期テスト	
5		1次不定方程式	○	○	○	○			
6			三角形の性質、円の性質	○	○	○			○
7				図形の性質	○	○			○
9	作図	○	○		○	○			
10		空間図形	○		○	○	○		
11	場合の数と確率		場合の数	○	○	○	○		
12		確率	○	○	○	○			
1			○	○	○	○			
2				○	○	○			
3	○	○	○	○					

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。